

【別紙】 パブリックコメントの実施結果

No.	中学校区	性別	年齢	意見内容
1	中田	女性	不明	<ul style="list-style-type: none"> ・二上まなび交流館の廃止に賛成です。 ・今年度4学年の宿泊学習で利用しましたが、施設設備の老朽化が目立ちました。 ・食事はお弁当で、係の方は1人でした。食事が充実していない宿泊は、子供たちにとって寂しく感じました。 ・野外炊飯や追跡ハイキング、自然を感じるゲーム等の活動は充実していました。 ・野外炊飯場の継続等子供たちの豊かな体験が今後もできる設備は存続の方向が望ましいです。
2	国吉	男性	50代	<ul style="list-style-type: none"> ・二上まなび交流館は、市内の小学校にとっては利便性のある施設だった。それは、4年生で初めての宿泊学習を実施する際、移動距離が少ないことや、万一のことがあれば保護者に迎えに来てもらうことが容易だったからである。 ・また、野外活動や調理活動のメニューも豊富で、日帰りの体験学習や、PTAの親子活動でも利用価値があった。 ・施設の老朽化による廃止はやむを得ないかもしれないが、日帰り活動に対応できるだけの野外施設の存続、維持管理はできないものでしょうか。
3	伏木	男性	50代	<p>二上まなび交流館</p> <p>○学校から近く、集団宿泊学習の学び始めに用いるのに好適な施設と考えている。児童の利用時に体の不調を訴えても、医療機関が近隣にある上、保護者も迎えに行くのが容易であるなど、安心で便利である。</p> <p>○活動エリアが、小学生にとってほどよい大きさであり、自然に触れたり、クラフトや野外炊飯をしたりする施設も十分に揃っている。</p> <p>▲食事の内容が年々寂しくなる。二上を利用する上で、児童にとって楽しみの1つであったものが、ここ1、2年は退屈で我慢のメニューに感じた。</p> <p>▲昨年の雪で折れた木がそのまま放ってあり、活動エリアが確保できていない。施設やフィールドが老朽化して安全面で不安に思えることがある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私自身が子供の頃から活用していた施設で、小矢部川越しに見える赤い屋根はシンボリックにも思っていた。無くなるのは残念であるが、その後、朽ちていく姿は見たくない。建物はすぐに撤去し安心してハイキング等が行えるように、第2万葉植物園等に利用して、施設の跡地や万葉植物園までの歩道の整備を続けてほしい。 <p>青年の家</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場所は知っているが、今まで1度も利用したことがない。能舞台があるから残すらしいという情報しか分からない。他の施設よりも優先して存続させることにどんな意味があるのか、市の見解に興味がある。

No.	中学校区	性別	年齢	意見内容
4	伏木	男性	40代	・財政難の高岡市で継続するのは難しいと思われる。代替できる施設があるので、廃止でよい。その財源で別のサービスを充実させてほしい。
5	伏木	女性	30代	・二上まなび交流館の行事に参加して楽しんでいる児童が何人かいるので、廃止されるのは寂しい。
6	伏木	女性	30代	・休日の活動に喜んで参加している児童の姿が見られたし、職員の方々もとても丁寧に接してくださっていたので残念である。
7	伏木	女性	50代	・二上まなび交流館の廃止は残念である。 ・青年の家の広報活動が活発に行われることを期待している。
8	福岡	女性	50代	・二上まなび交流館の廃止のニュースを聞き、大変残念に思った。当施設は、長い間、宿泊学習事業・部活動等の合宿・その他各種研修等に幅広く利用されてきた、市民にとって身近で大切な場所であった。二上山の恵まれた自然環境にありながら、市街地からのアクセスもよく利便性が高い施設である。我が家の子供たちも宿泊学習を始め、数えきれないくらい、いろいろな場面で利用させてもらい、学ばせてもらった。 ・近年では、年間を通じて、児童を対象にしたさまざまな体験型プログラムも開催されており、学校や家庭ではなかなか体験できない活動を通して高岡の子供たちの教育に貢献している。建物の老朽化も「廃止」の大きな要因となっているようだが、体育館やキャンプ施設等、一部分だけでも改修を行うことで引き続き活用できないだろうか。宿泊事業は難しいとしても、日帰り事業の体験型プログラムだけでも存続させ、これからも高岡の子供たちの社会教育の「受け皿」として残す道はないものか、再度検討をしていただけるとありがたい。
9	高岡西部	男性	50代	・例年、4年生が二上まなび交流館を利用して一泊二日の宿泊学習を実施している。 ・二上山の追跡ハイキングやカレーライスづくりなどの調理実習は、学校では体験できない貴重な活動である。職員の対応も手厚く、31年度も9月に利用する予定である。 ・現在、働き方改革が進み、4年生で宿泊学習を実施しない学校が増えてきているが、個人的には上記の野外活動や友達との共同宿泊体験は小学校のうちにぜひ体験させたいと考えている。泊を伴わなくても、日帰りでの利用が可能であれば活用を検討したいと考える。

No.	中学校区	性別	年齢	意見内容
10	志貴野	男性	70代	<ul style="list-style-type: none"> ・この場所は鳥越（うえつ）古墳群がある。二上射水神社の東方の鳥越（うえつ）台地で、標高50mくらいの付近に古墳が点在している所である。交流館が建っている横に小円墳があり、国旗掲揚塔の所には方墳があったということである。時期は不詳であるが、この台地に遊園地があった。市内の尋常小学校の学童らはこの遊園地で遊び遠足と登山を楽しむ憩いの二上山であった。 ・体育館は利活用すべきである。本館の閉館はやむを得ないと思うが、二上山の登山口であり、体育館を利用活用した周辺山道と登山コースなどの整備をしてはどうか。 ・二上山は、古くからの悠久の歴史を織りなしてきた心の古里であり高岡市民の宝でもあった。二上山全体の野外フィールドにするに加えて、歴史を生かした地区の活性化を協議して頂きたい。野鳥や植物も多い事も忘れてならない。 ・ふもとには二上射水神社がある。国指定重要文化財の男神坐像を所有している。4月23日は、春季大祭で県指定無形文化財の築山行事があり、古代信仰のさまを今に伝えている。日常は、1日（ついたち）参りや崇拜者が多くの参拝者がある。神社文化財保存会では、境内の環境整備に普請していますが、周辺の山道などを含めた整備を願いたい。 ・高岡市の名誉市民である「大橋八郎」の句碑がある。号は大橋越央子（えつおうし）。この台地には大橋八郎所有の土地（交流館庭中央）があつて墓もあつたとしている。2007年に県から高岡市に移管されたときに譲渡手続きをしている。毎年、お盆には句碑に花を添えに高岡へ来ている。よって、大橋家に無断ではなく経過報告も含めて案内すべきである。 ・指定管理者は、高岡市民文化振興事業団であるが、体育館を残すとして歴史の山、憩いの山、二上山の登山口として引き続き考慮して欲しい。 ・国定公園を鑑みて「御手な会」への譲渡はしないで下さい。

No.	中学校区	性別	年齢	意見内容
11	高岡西部	男性	40代	<ul style="list-style-type: none"> ・高岡市に、各種団体が宿泊・交流できる施設がなくなるという意味では、「二上まなび交流館」の廃止は非常に残念である。しかし、近年の利用者数の減少というデータや施設の老朽化による補修や建て替えによる市の財政圧迫という観点から見ると、廃止もやむを得ない。 ・青年の家についても、修繕など施設維持管理費によって、財政を圧迫するというこことであれば、廃止もやむを得ないと考える。 ・文化教養講座や芸能活動等、社会教育の重要性は十分理解しているが、市の財政健全化を最優先にして決断していただきたい。財政健全化達成の後、既存の施設の活用し、社会教育の充実を再検討してはどうだろうか。（小学校の統合が進むようであるので、空いた校舎、グラウンドを活用すれば、同等まではいかないが、この2施設に近いものが、復活できると考える。） ・高岡市の財政健全化が最重要課題であり、「二上まなび交流館」の廃止はやむを得ない。 ・青年の家の当面維持についても、さらに検討する必要がある。
12	戸出	男性	50代	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校では、伝統的に宿泊学習に利用してきた。多くの市民が利用してきた歴史と思い出があり、廃止されることは寂しいが、財政難の折、施設老朽化に伴う維持管理経費を考えれば仕方がないことと理解する。 ・今後の活用方法の一つとして、富山大学芸術文化学部とも近いので、リンクした制作工房や野外展示スペースとしての活用を検討してはどうだろうか。
13	南星	女性	50代	<ul style="list-style-type: none"> ・二上まなび交流館が廃止されるのは、本当に残念である。長年にわたって、4年の宿泊学習で利用させていただいた。児童にとって初めての宿泊学習であるため、安心安全の確保のためには、教職員の負担が大きかった。4年の宿泊学習をやめる学校が増えている中でも継続していたのは、二上まなび交流館の所員の方々が、活動に対して全面的に協力して下さったからに他ならない。宿泊施設として利用するのはできなくなるが終日校外学習等で活用できるようにしていただきたい。

No.	中学校区	性別	年齢	意見内容
14	芳野	男性	50代	<ul style="list-style-type: none"> ・教員として、「二上青少年の家」の頃から、30年以上も関わりがあり、廃止という方向は心情的にとっても寂しい思いがします。また、二上という高岡の里山の地での体験的な野外活動の場が無くなるということも残念に思います。しかし、施設の老朽化、食事面での課題、利用者数の減少、採算バランスの悪化等の理由から、高岡市の負担が大きく、早期の廃止はやむを得ないと考えます。 ・本校は4年生の宿泊学習の場として、「二上青少年の家」を毎年利用していました。子供たちは二上の宿泊学習をとっても楽しみにしています。多様な直接活動が体験できる宿泊学習は、子供たちにとって学ぶことがたくさんあり、成長のための大事な教育活動です。「二上青少年の家」の廃止が、4年生の宿泊学習の廃止に繋がらないように、「呉羽青少年自然の家」や「砺波青少年自然の家」を利用するなどして継続していきたいと考えています。
15	伏木	男性	60代	<ul style="list-style-type: none"> ・二上まなび交流館について、「施設の基本的な方向性について」は十分理解できる。 ・小学生の宿泊学習など、教育的効果の高い施設なので存続を望みたいが、現在の高岡市の状態では難しいであろう。 ・交流館に限らず、文化施設がだんだん縮小化されていくのは、残念に思う。
16	志貴野	男性	50代	<ul style="list-style-type: none"> ・二上まなび交流館については、能町小学校は例年日帰りで4年生が活用している。内容は、オリエンテーリング、野外炊飯の2プログラムであるが、児童にとっては自然の中で味わえる貴重な体験となっている。市内に、交流館のような施設を残していただきと願うが、老朽化の問題や活用頻度を考えると、現方針で仕方がない。近隣の市にも交流館のような施設は残っているので、活用できなくなれば内容から白紙で再考することになる。学校の立場としては、「あれば活用する、なければ他の方法を考える」というのが実情である。一市民としては、莫大なお金をかけてまで存続させる必要はないものと思っている。

No.	中学校区	性別	年齢	意見内容
17	志貴野	男性	50代	<p>【二上まなび交流館の廃止について】</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設の老朽化や冬季利用者の減少等、解決が難しい問題があり、今後、高岡市が維持管理することが困難であることは理解できる。しかし、新学習指導要領に示された主体的で対話的な深い学びにつながる要素が、本施設のプログラムに多く含まれていたことを考えると、重要な学びの場を失うことになり、大変残念である。今後、児童生徒の自主性や社会性を伸ばす体験的な学習を推奨する施策の実現を期待したい。 <p>【青年の家の当面維持について】</p> <ul style="list-style-type: none"> 維持していくなれば大規模な改修や駐車場の増設を行い、利用者の利便性の向上を図る必要がある。しかし、本施設を利用している団体の多くは、コミュニティーセンターや公民館、文化ホール等、高岡市が保有する他施設でも活動が可能なのではないか。老朽化した施設の維持管理に多額の予算を投じるのであれば、万葉線やコミュニティーバスを整備し、市民が多少離れた施設であっても気軽に出かけられる交通環境を実現することで、地域の消費活性化にもつながることが期待できる。能舞台については、解体移築や撤廃を含め、存続について検討する必要があると考える。
18	牧野	女性	50代	<ul style="list-style-type: none"> 二上まなび交流館は、老朽化により安全性の面で課題が大きく、廃止の方向性は仕方がないと思うが、文化的施設がどんどん廃止されていく現状は市民として心が痛む。 特に、交流館は小学校にとっては自然の中で宿泊体験ができる貴重な施設であり、日帰りのプログラムも工夫されている。完全に廃止ではなく、自然体験ができる場として、存続させる方法を探っていただきたい。

No.	中学校区	性別	年齢	意見内容
19	戸出	男性	60代	<ul style="list-style-type: none"> ・二上まなび交流館「廃止」は「仕方がない」と思います。維持管理費年間約5,000万円で利用料収入約700万円で、市がほとんどの経費を負担している状態では存続は無理だと思います。 ・これまで県の施設だったのが市に移管されても高岡市内小学校の多くは二上まなび交流館を利用していました。「近い、自然が豊か、活動メニューがバラエティー、そして職員の方が親切」等のよさからでした。 ・2020年度までは継続し、運用する方向での骨子案が検討会議で出されました。苦渋の決断だったと思います。2021年度以降においては市内小学校は近隣の施設を利用することで宿泊学習の目的である「豊かな自然や文化に触れる体験を通して、情操豊かな人間性を育てる」等を果たしていくこととなります。 ・変革していく中で（世の中の流れとして）各学校がこれまでと変わらず教育効果を上げ続けていくかが問われていきます。今回のこの二上まなび交流館「廃止」を前向きにとらえ、新たなアクションを起こしていくのが学校の課題です。
20	五位	男性	50代	<ul style="list-style-type: none"> ・二上まなび交流館の老朽化による廃止は仕方がないと思う。しかし、新たに青少年の健全育成を目的とした施設の建設を望みたい。特に二上山周辺は豊かな自然に恵まれ、越中万葉かるたの札の中にも登場している。 ・ぜひ自然環境を活かして野外活動ができる施設があれば、ファミリー層の利用もあると考える。また、施設の運営にあたってはクリーンセンター同様に「高岡地区広域圏」で行えば、利用者の増加が見込めるのではないかと。
21	五位	男性	40代	<ul style="list-style-type: none"> ・ちょうど自分が小学生の頃、宿泊学習で二上青少年の家まで歩いて、東五位小学校から、班編成で向かったのを思い出し、調べたところ、昭和44年に開設されたのを知り、とても古い施設ということを実感しました。 ・耐震改修もされていますが、利用者の方は少なかったんじゃないでしょうか。事業を見てみますと、月1回ぐらいの催しで、他の施設でもできる内容です。 ・廃止につきましては賛成です。ですが、利用して、思い出をつくった場所がなくなるのは、とても寂しく感じます。 ・そういえば、中学の時も宿泊しました。友達と二段ベットで楽しく会話していました。利用された多くの皆さんの思い出は心の中に残ると思います。長い間、ありがとうございました。

No.	中学校区	性別	年齢	意見内容
22	南星	男性	50代	<ul style="list-style-type: none"> ・二上まなび交流館の早期廃止についてはとても残念です。特に子供たちの健全育成や学校での集団宿泊学習には、高岡市に位置していることもあり有効でした。 ・今後、子供たちや青年等の教育の場として、新たな形でのスタートを期待しています。
23	南星	男性	50代	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の安全管理上、二上まなび交流館が廃止されることは、致し方ないことだと思われる。しかしながら、交流館がこれまで担ってきた役割（社会教育の充実、学校教育の充実等）を考えると、それを今後、どう補っていけばよいのかという課題が残る。 ・もちろん、青少年の研修施設は、砺波や呉羽等、他にもあるが、高岡市内の施設がなくなるということは、宿泊学習等における利便性が、今まで通りではなくなるということである。行事の見直しは、避けては通れないことになると考える。
24	志貴野	男性	50代	<p>【二上まなび交流館の廃止について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・築50年が経過し、老朽化が著しいことや、維持管理費に年間5,000万円かかり、利用料収入が700万円では、二上まなび交流館の廃止については、仕方ないと思う。 ・今後、人口減少や少子高齢化が進行し、市政収入の伸び悩み等を考えるとなおさらである。 <p>【青年の家の当面維持について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青年の家については利用者が多いということで維持に賛成である。利用できるまでしっかりと使っていけばよいと思う。
25	芳野	女性	50代	<ul style="list-style-type: none"> ・二上まなび交流館について、これまで、中学校の部や生徒会のリーダー研修会、部の合宿や県外チームとの合同練習等に活用させていただきました。自然豊かで高岡市民が車で行きやすい場所にあるため、利用しやすかったと思います。 ・しかし、施設の老朽化と修繕等の費用がかかるなど、経済上、困難であれば閉館も仕方ないと思われます。
26	芳野	女性	不明	<ul style="list-style-type: none"> ・二上まなび交流館について、野外炊飯では各班に指導員がついてくださり、活動しやすかったのはありがたかった。 ・施設の老朽化に伴い、整備・修繕に金額がかさむのであれば、閉館も仕方ないと思われる。

No.	中学校区	性別	年齢	意見内容
27	芳野	男性	50代	<ul style="list-style-type: none"> ・二上まなび交流館について、活動に対する補助・支援も手厚く、二上の自然や歴史の一端に触れられる魅力もあり、その点が維持されるのであれば有益な施設ですが、それ以上に維持・修繕等に経費がかかるのであれば、閉鎖もやむなしと考える。
28	伏木	男性	60代	<ul style="list-style-type: none"> ・二上まなび交流館がこれまで、青少年に集団活動や公共の場での行動について学ぶ場、自然体験活動の場を提供してきた意義は、とても大きなものがあると思う。しかし、児童数が減少し近隣に同種の県立の施設があること、維持管理が大変なことを考えると閉鎖はやむを得ないことだと思われる。 ・建物自体が老朽化により無くなるとしても、子供たちに自然の中で体験活動ができる場を継続して提供できないだろうか。自然の中で苦労も有りながら友達と集団で活動することは、子供たちの成長にとって大きな財産になると思う。 管理棟のようなものを建てて、現在ある炊事場やそれに伴う道具を残しておけば、宿泊学習はできなくなるが、小学生が日帰りでも自然に囲まれ野外活動を体験する場を提供することができるのではないだろうか。 ・財政的に苦しいことがあり、施設の閉鎖はやむを得ないが、高岡市の子供たちの健全な成長に資する場として生まれ変わることを願っている。
29	芳野	男性	50代	<ul style="list-style-type: none"> ・高岡市で生まれ育った者として、また、高岡市の学校で勤務してきた者としても、二上まなび交流館（二上青少年の家）の利用ができなくなることに對して、とても残念に感じている。 ・今年度も施設を、4年生の宿泊学習で利用させてもらったが、確かに施設等の老朽化や給食業者の弁当による食事は、施設のデメリットと強く感じた。（これらの改善が難しいところが、今回の決定につながったものと思う。） ・宿泊学習ではなく、終日校外学習として、いろいろな野外活動（二上山登山を含む）ができる施設のメリットは、できるならば、今後も残して行ってほしいと強く願っている。（実際は、施設の解体等にも莫大な費用がかかり、残された施設を維持・管理することも難しいとは思いますが、婦中のある「ねいの里」のように、二上山の自然等を学習できるネイチャーセンターのような機能は残していただけたらありがたい。）

No.	中学校区	性別	年齢	意見内容
30	高陵	男性	50代	<ul style="list-style-type: none"> ・長年、二上まなび交流館は、高岡市の学校教育や生涯学習において、重要な役割を果たしてきた。とりわけ学校教育においては、4年生の宿泊学習で利用させていただいている学校が多い。 ・二上まなび交流館において実施している、イニシアティブゲームや追跡ハイキング、野外炊飯、キャンドルサービスなどのプログラムは普段の学校では体験できない貴重な場であったことは、誰もが認めるところだろう。 ・一方、近年、施設整備の老朽化や、食事の外部委託など、他の公的宿泊施設（立山や能登等の自然の家）と比べると魅力が減少していることも否めない。今後、これらの対応に多額の費用がかかると想定されるので、施設の廃止はやむを得ないものと考ええる。
31	伏木	男性	80代	<ul style="list-style-type: none"> ・青年の家（築42年）、建物を残すも壊すも多くの課題があるが、3階に文化に起因する高岡唯一の能舞台が存する大切な舞台としてなんとか残してほしいものだ。思い切ってリニューアルではなく、できれば大きな切口でイノベーション的改良ができないものかと考えます。青年の家名称から変更したほうが望ましい。 ・二上まなび交流館（築49年）、検討会議骨子案にあるように早期廃止もやむを得ないと考えます。館外の利用については、人口知能、AI、IoT、VR、AR、MRが進む中で、自然との絆を深める体験がより大切になると考えます。両面を平行して行えるフィールドがあることが、望ましいと考えます。
32	志貴野	男性	30代	<ul style="list-style-type: none"> ・高岡市の小学生にとって学校の近くにあり、安心して利用することができました。児童の急な発熱等、何かあったときにもすぐに保護者に迎えに来てもらえるよさがあります。野外炊飯では、職員の方々のサポートが手厚く、安心して活動することができました。食事がお弁当となり、児童の残食が増えたように思われます。お風呂は修繕が必要であるように思われます。これまで学校でよく利用させていただきました。一部修繕が必要なところを除いては、閉鎖はもったいないように思われます。民間への売却、移譲等による継続はできないのでしょうか。
33	志貴野	女性	50代	<ul style="list-style-type: none"> ・野外炊飯、イニシアティブゲーム等、職員の方々が大変分かりやすく指導して下さるおかげで、充実した活動となりました。特に、野外炊飯では、かまどに火をつける際、たくさん手伝っていただくことで、スムーズに火がつき、ありがたかったです。食事の準備や片付けの方法が以前とは変わりましたが、時間がかからず、よかったです。食事の量が小学生には多いように思われました。残す児童が多かったので、もう少し小さいサイズがあればありがたいです。